

「中プロ・オープンラボ」を開催します！
～中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するためのシンポジウム～

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォークアブルなまちづくりを推進しています。

このたび、千葉都心の「まちの顔」である中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像を検討するため、「中プロ・オープンラボ」として、オープンな場でのシンポジウムを開催しますので、お知らせします。

1 概要

これまで「中プロ・デザインラボ」では、市民、事業者、大学、行政などが、多様な視点や価値観で、中央公園プロムナードおよびその周辺の課題やテーマについて、意見交換し、将来像を検討してきました。

今回開催する「中プロ・オープンラボ」は、これまでの「中プロ・デザインラボ」での意見交換を基に、「(仮称)中央公園プロムナード周辺のまちづくりビジョン」の策定や実現に向けて、各分野の有識者・実践者の視点から新たなヒントを得て、今後のビジョンづくりに活かすためのシンポジウムを開催します。

2 日時

令和7年11月20日（木） 18：15～20：15 ※18：00から受付開始

3 場所

京葉銀行本店駐車場（中央区富士見1-11-11）（協力 株式会社京葉銀行）

※雨天等の場合は、「千葉都市モノレール千葉駅2階 地上出口通路ペDESTリアンデッキ」で開催します。

4 内容

- （1）中央公園プロムナード再編の検討に向けた取り組み・これまでの検討成果報告
- （2）パネリストからの話題提供
- （3）パネルディスカッション・クロストーク

＜モデレーター＞

- ・千葉大学大学院工学研究院建築学コース准教授 松浦 健治郎 氏

＜パネリスト＞

- ・一般財団法人計量計画研究所 牧村 和彦 氏
【テーマ】共創、交通計画学、モビリティデザイン
- ・千葉大学大学院園芸学研究院ランドスケープ学コース准教授 霜田 亮祐 氏
【テーマ】ランドスケープ
- ・株式会社 Groove Designs 代表取締役 三谷 繭子 氏
【テーマ】プレイスメイキング・福山市の事例

5 参加費等

参加費 無料

定員 約50人（事前申し込み・先着順）

6 申し込み方法

11月19日（水）17：00までに市ホームページからお申し込みください。

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/openlab01.html>



<参考>

1 中プロ・デザインラボの開催実績について

	開催日・場所	内容
第1回	令和7年2月21日 市役所	千葉大学都市デザインスタジオ 2024 からの提案「千葉市の顔としての中央公園プロムナードのリデザイン」を基に意見交換を実施し、提案内容を模型や3D都市モデルに反映させ、道路空間の活用イメージの共有を行いました。
第2回	令和7年6月2日 千葉商工会議所	千葉駅周辺の航空写真を用いた魚眼マップを使って、地域の資源や課題、まちづくりのアイディアをポストイットで貼り出し、意見を可視化・整理するワークショップを実施しました。
第3回	令和7年8月26日 千葉商工会議所	中央公園プロムナードや周辺エリアの将来像について、参加者が自身の価値とエリアの将来イメージを整理・共有した上で、具体的な利用シーンを抽出し、利用前後に立ち寄るプロムナードや周辺の姿を考えるワークショップを実施しました。
第4回	令和7年10月14日 千葉商工会議所	中央公園プロムナードおよびその周辺の将来イメージや利用シーンの実現に向け、具体的な戦略を検討するワークショップを実施しました。第3回ラボの意見を踏まえ、将来イメージに必要な要素やキーワードを共有したうえで、活動や滞在の場所、動線のつながりを地図上で整理し、実現に向けた方策を議論・共有しました。

2 デジタルプラットフォームについて

中央公園プロムナードおよびその周辺の将来像について、多様な意見の収集を図ることを目的として、従来のワークショップに加え、オンラインで参加者の意見やアイディアを募集・共有するデジタルプラットフォームを立ち上げました。多くの皆さまからのご意見等をお待ちしています。（詳細は市ホームページ参照）

○デジタルプラットフォーム（「my groove」株式会社 Groove Designs 開発・運営）

【URL】 <https://mygroove.city/organizations/23>



○市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/digitalplatform.html>

